

競 技 注 意 事 項

1、規 則

競技は2021年度日本陸上競技連盟規則及び大会申し合わせ事項による。

2、プログラム記載事項の訂正について

①29日（土）、30日（日）とも 8時20分までに本部にて訂正の受付を行う。

それ以後は受付しない。

②訂正については、事務局側の記載ミスのみで変更は一切認めない。

3、練 習

①練習は危険防止に充分注意して行う。

②フィールド競技の練習は競技開始前に審判の指示により競技場内において行い、練習は各選手1回とする。

③危険防止に十分留意し、主競技場以外での投擲練習は全て禁止する。

4、招 集

①招集所はスタンド裏のコンコースに設置する。※フィールド競技は現地にて行う。

②招集に遅れた者は棄権とみなし、出場を許さない。

③招集時間及び完了時間は下記の通りとする。

種 目	開始時刻	完了時刻
トラック競技（招集所）	競技開始45分前	競技開始15分前
フィールド競技（現地）	競技開始60分前	競技開始20分前

④招集は競技者本人がアスリートビブスを持参して点呼を受ける。

⑤四種競技は最初の種目のみ招集所にて招集を受け、2種目からは混成競技係の指示に従う。

5、入 退 場

①入場については競技者係の指示に従う。

②トラック競技は終了後フィニッシュライン右前の出口より出てスタンドの裏を通る。

③フィールド競技は終了後役員の指示で最寄りの出入口より退場する。

6、アスリートビブス

①アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。

（男子は青地に黄色数字、女子は黄地に青色数字）

②アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりと付け、切ったり曲げたりしてはならない。但し、走高跳・棒高跳・走幅跳は1枚を胸又は背のどちらかにつけるだけでよい。

③トラック種目は招集所で腰ゼッケンを受け取り、短パン右後方に四隅をしっかりとピンで止め、レース終了後、係に必ず戻すこと。

7、リレー競技について（リレーオーダー用紙は招集所に準備）

①リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を2部作成し、競技開始2時間前までに招集所に提出のこと。

②リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。

8、レーン

①セパレート・レーンで行う競技で全レーンを使用しない場合は、常に第1レーンをあけ、第2レーンより使用する。

9、走高跳・棒高跳のバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後3m	以後の高さについては審判長の指示による。
女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	以後3m	
男子四種 走高跳	1m30	1m35	1m40	1m43	1m46	1m49	1m52	1m55	1m58	1m61	
女子四種 走高跳	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42	1m45	
男子棒高跳	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	
女子棒高跳	1m40	1m50	1m60	1m70	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	

10、測定する距離について

①競技運営上各種目で下記の距離を越えない場合は測定しない。但し、1回は測定する。

種 目	距 離	種 目	距 離
共通男子走幅跳	4 m 5 0	共通女子走幅跳	3 m 5 0
1年男子走幅跳	3 m 7 0	1年女子走幅跳	3 m 2 0
共通男子砲丸投	7 m 0 0	共通女子砲丸投	6 m 0 0

11、フィールド種目競技中に、トラック種目と重なり抜けた場合、そのラウンドの試技は原則として認めない。

12、用器具

①棒高跳のポール以外は、競技場備え付けのものを使用する。

②スパイクの長さは、走高跳は12mm以下、他は 9mm以下とする。

13、抗議 抗議申立書と預託金 1 0 0 0 0 円を添えて総務に提出（正式アナウンス後 1 5 分以内）

14、その他

①服装は見苦しくない服装で行うこと。

②各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。

③ゴミについては必ず持ち帰ること、また、会場使用場所の清潔、整頓に努めること。

競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。

④本大会に参加する上でのマナーをよくすること。

・用器具は皆で準備、後片付けをする。（ハードルの準備と後片付けを手伝う。）

・本部前を通過しない。 ・フィールドを横切らない。

・スタート前は静粛にする。 ・施設設備を大切にすること。

・フェンスに上らない。 ・スタンドでの応援は前の柵に寄り掛かからない。

⑤記録の発表は各種目とも8位までとし、9位以降は正面玄関前に掲示する。

⑥スタンド裏にシート等を敷いたり、ベンチとして使用しない。

⑦競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者側で行うが、以降の責任は負わない。